

会員26名が参加し、あいち国際プラザで研修し、その後名古屋城本丸御殿を見学しました。

あいち国際プラザでは、愛知県の人口は全国4位であるが、外国人数は東京都に次ぎ2位の24万人で多いこと。日本には、日本語の解らない人が35,000人おり、その内7,000人が愛知県にいるとのことでした。説明をお聴きして、日本語教室の重要性を実感しました。

その後、晩秋の紅葉や黄葉の景色の中、9年にわたる復元を終えた名古屋城本丸御殿を見学し、400年前の豪華絢爛の空間を楽しみました。



- ①日 時 2019年12月16日(月)
9:00 町民会館駐車場 集合・出発
※町バス利用 9:00~17:00
- ②研修先 ・愛知県立瑞陵高等学校正門脇の杉原千畝広場(瑞穂区)
「命のビザ」をユダヤ人に発給した外交官杉原千畝の母校に出来た杉原千畝広場(センポ・スギハラ・メモリアル)の見学。
・ららぽーと名古屋みなとアクルス1F(港区)
11:30~昼食 ブッフェ・ザ・フォレスト(バイキング)
・在名古屋ペルー共和国総領事館(中区)
ペルーへの日本人移住が始まって120周年。中南米で初めて日本人移民を受け入れた国ペルーを学ぶ。ぜひご参加下さい。
- ③募集人数 30名(先着順)
- ④参加費 2,500円(昼食代及び飲物代含む)
- ⑤申込み 11月11日(月)~11月21日(木) 地域協働課(☎56-0727)へ

法人・団体
会員紹介

- ・株式会社 東郷製作所
 - ・東郷町商工会
 - ・東郷町施設サービス株式会社
 - ・JAあいち尾東 東郷支店
 - ・ネットトヨタ東名古屋 東郷春木台店
 - ・株式会社 中部理化
 - ・有限会社 大盛技建
 - ・原田税務会計事務所
 - ・豊田信用金庫 東郷支店
 - ・株式会社 サンコー
- (順不同)

編集後記

会員みなさん、お変わりありませんか。連日の長雨。遅い梅雨明け後の猛暑を体験した今年の夏でした。秋の味覚を味わい、秋の景色を楽しまれたことと思います。第31号 機関紙をお届けします。ご意見、ご要望をお待ちしています。(SK)

- 担当 岩瀬文枝・近藤小夜子・近藤安恵
杉原悠紀子・安原美恵子(五十音順)

会員募集

あなたも、国際交流のイベントに参加し、いろいろな体験を楽しみ、新しい仲間作りをしませんか。随時、加入をお待ちしています。今年度の会費を未納の会員さんは、恐れ入りますが、年度内に納めてくださるようお願い致します。

- 年会費
- 個人会員 1口 1,000円
- 法人会員 1口 5,000円



ふれんどしっぷ



「いいね！」と言われる活動をめざして

東郷町国際交流協会会長 石川 幸生

1999(平成11)年、東郷町国際交流協会は「理解、交流、協力」の理念を基に発足して、2019(令和元)年には21年目を迎えました。協会活動の主な事業としては、異文化交流会、「ふれんどしっぷ」機関紙の発行、年間を通した日本語教室の開催、町民納涼まつりへ外国籍の方々と共に揃いのTシャツで踊りへの参加、とうごう体操まつりへのスポーツ参加協力、じどうかんこどもまつりへの参加、町防災訓練への参加、文化産業まつり国際交流協会コーナー開設、会員のための楽しい研修会、多文化交流の集い、国際交流に関するテーマ講演会開催などが行われています。

現在、わが町には30数か国の外国籍の方が約1300人居住されているようです。求められるニーズを踏まえ、本町の国際交流の在り方について、皆様に「いいね！」と言われる活動の未来図を描きたいものです。

新しい令和の時代に求められる協会活動は、発足の理念をコアにして、誰もが安心して気楽に参加できて、笑顔のこぼれる楽しい活動を展開することにあると思います。老若男女、年齢の垣根を超えた身近な活動として定着することを期待しています。これまで以上に皆様の積極的な参加とご理解ご支援をお願い致します。

交流のひろばに集まろう!

異文化理解&交流事業(町委託事業)(2019/7/21)

「折り紙」といえば日本伝統の遊び、文化と考えられています。しかし、今や「ORIGAMI」と表記され、世界中にその愛好家が増え親しまれています。

今回は、東郷町国際交流協会副会長・一般社団法人日本折紙協会常任理事の半田直直先生の指導で、外国人30名を含む100名が折り紙に挑戦しました。

四角い一枚の折り紙を1回、2回、3回、4回折ることで色々な形になる不思議さに夢中になりました。また、同じ形に折った18枚を組み合わせる作品作りに真剣に挑戦し、出来あがった時の満足感たっぷりの笑顔が素晴しかったです。東郷高等学校生徒7名にも指導・援助をしてもらい、折り紙を通じた国際交流ができました。



机を囲む参加者

サンタ折り紙



講師 大槻 洋也氏

2019年度 総会 (2019/5/26)

日本語教室(町委託事業)、異文化理解&交流事業、在町外国人と一緒に納涼まつり参加、在町外国人向け総合防災訓練事業などを行うことが決まりました。

また、総会終了後は「多文化共生の集い」として、大槻洋也氏(至学館大学教授)から「障がい者のスポーツについて～2020東京パラリンピック開催に期待するもの～」と題した講演を聴きました。

障がい者スポーツの基本的な考え方は、「失ったものを数えない。何が出来ないのではなく、残された機能を最大限活かして何が出来るか。」を考えられる頭の柔らかさ・工夫の必要さを長年の経験・実践から解りやすく話して頂きました。一年後の2020東京パラリンピックが楽しみになりました。



次の役員人事が承認されました。

- ▼会長・石川幸生 ▼副会長・半田文直、近藤直也 ▼会計・鶴田美子
- ▼書記・近藤小夜子 ▼常任理事・杉原悠紀子、長谷川いつ味、伊井友昭、野々山清子 ▼会計監査・安原美恵子、森岡京子

第16回 じどうかんこどもまつり (2019/6/9)



国際交流協会はインドネシアブースを担当し、小学生200名・幼児38名がインドネシアの遊びや民族衣装試着体験をしました。民族衣装を着て保護者に写真を撮ってもらっている子は、緊張しながらも素敵な笑顔をしていました。

町民納涼まつり (2019/8/17)

お揃いのTシャツを着て、インドネシアや中国、カンボジア、ネパール、ベトナムなどからの外国人40名と、国際交流協会会員30名が一緒になって踊りました。伝統文化の盆踊りに参加し、「みんなで踊ると楽しい!!」と笑顔で親睦を深めました。



第4回 とうごう体操まつり (2019/9/14)

体育館アリーナで開催された「とうごう体操まつり」に今年も参加しました。

アメリカ人とカナダ人の外国語指導助手(ALT)4人と、日本語教室生徒のベトナム人、中国人、国際交流協会員の韓国人の国際色豊かな8人が2チームに別れて、パラリンピックの競技でもあるポッチャをしました。

初めてなので、ルールややり方を指導して頂き、体験練習を行いました。いざ、試合となりましたが、思うところに球を投げる



ことができず、苦戦しました。みんなで協力し合って楽しく行うことができ、またやってみようとのことでした。

その後も、スポーツ体験教室に参加し、色々なスポーツが、楽しめた1日だったようです。



東郷町総合防災訓練参加 (2018/11/25)

大規模地震の発生を想定した東郷町の総合防災訓練が高嶺小学校であり、日本語教室で学ぶベトナム人女性3人が参加しました。

応急手当訓練見学、初期消火訓練体験、はしご車乗車体験、軽装甲自動車乗車、炊き出し訓練などの見学や説明を聞きました。



日本の家庭料理に挑戦 (2018/12/2)



いこまい館2階の調理室にて、日本語教室の学習者18名(家族含む)と指導者10名で日本の家庭料理の代表である炊き込みご飯と豚汁、デザートのパバロアの献立で調理実習をしました。手順や切り方・作り方の説明を聞いた後、4グループに分かれて実習にかかり、楽しく助け合って作り、大変美味しく試食をすることができました。

「里芋って何ですか?」という質問がありました。1つずつの会話が日本語の学習にも役立ち、とてもよい体験会でした。

